



槐魂

～4月号～

生徒会広報部

新しい仲間とともに頑張りました。

楠隼創立四年目。

初の内進生と外進生との合同入学式

第四期生 入学完了

楠隼の開校から四年目を迎えました。当初から、全寮制中高一貫男子校で、県内外を問わず様々な都府県からくる生徒たち。JAXAと提携して、さらにスーパー食育スクールとして評判だった楠隼。そして今年、そんな特色ある楠隼に、今月八日、六十名の中学生と、五十七名の高校生が入学しました。

初めは、忘れてられない味になったのではないのでしょうか。

そんな日の学習時間には、寮生徒会オリエンテーションがありまして。寮生徒会オリエンテーションの中で、新しく入ってきた後輩になかなか慣れない三期生の姿もちらほら見受けられました。

オリエンテーションの中で行われた活動を通して、新入生それぞれがお互いへの理解を深める最初の機会となつたとはいえず。

そして翌日に、入学式は挙行されました。とても多くの来賓の方々の前で全ての新入生が入学を許可されました。入学を許可された新入生はやや興奮気味でした。しかし、これから楠隼で生活していくことへの戸惑いや、人間関係への不安を抱く生徒も少なくなく、思ったよりも、そんな新入生を次に待っていたのは学校生徒会紹介や部活動紹介

か、初めは、忘れてられない味になったのではないのでしょうか。そんな日の学習時間には、寮生徒会オリエンテーションがありまして。寮生徒会オリエンテーションの中で、新しく入ってきた後輩になかなか慣れない三期生の姿もちらほら見受けられました。オリエンテーションの中で行われた活動を通して、新入生それぞれがお互いへの理解を深める最初の機会となつたとはいえず。そして翌日に、入学式は挙行されました。とても多くの来賓の方々の前で全ての新入生が入学を許可されました。入学を許可された新入生はやや興奮気味でした。しかし、これから楠隼で生活していくことへの戸惑いや、人間関係への不安を抱く生徒も少なくなく、思ったよりも、そんな新入生を次に待っていたのは学校生徒会紹介や部活動紹介



新たな楠隼を創造していく足がかりとなつていくでしょう。(中井)



↑新入生入場時、一斉に振り返り向く生徒や保護者の皆様

か、初めは、忘れてられない味になったのではないのでしょうか。そんな日の学習時間には、寮生徒会オリエンテーションがありまして。寮生徒会オリエンテーションの中で、新しく入ってきた後輩になかなか慣れない三期生の姿もちらほら見受けられました。オリエンテーションの中で行われた活動を通して、新入生それぞれがお互いへの理解を深める最初の機会となつたとはいえず。そして翌日に、入学式は挙行されました。とても多くの来賓の方々の前で全ての新入生が入学を許可されました。入学を許可された新入生はやや興奮気味でした。しかし、これから楠隼で生活していくことへの戸惑いや、人間関係への不安を抱く生徒も少なくなく、思ったよりも、そんな新入生を次に待っていたのは学校生徒会紹介や部活動紹介

か、初めは、忘れてられない味になったのではないのでしょうか。そんな日の学習時間には、寮生徒会オリエンテーションがありまして。寮生徒会オリエンテーションの中で、新しく入ってきた後輩になかなか慣れない三期生の姿もちらほら見受けられました。オリエンテーションの中で行われた活動を通して、新入生それぞれがお互いへの理解を深める最初の機会となつたとはいえず。そして翌日に、入学式は挙行されました。とても多くの来賓の方々の前で全ての新入生が入学を許可されました。入学を許可された新入生はやや興奮気味でした。しかし、これから楠隼で生活していくことへの戸惑いや、人間関係への不安を抱く生徒も少なくなく、思ったよりも、そんな新入生を次に待っていたのは学校生徒会紹介や部活動紹介



↑新入生退場。とても凛々しい姿でした。

蛍光ペン 著・宮島

▼楠隼創立から四年目。一人間は何日でも目に入る。高校一年部の新しいことになれる生も大きな成果を残して卒業した。また、新しい四期生の入学も完了した。楠隼は全寮制である。そのため寮に三年間いし六年間過ごすことかなければならぬ。学校生活も大事だが、一番心配なのは寮生活のほうだ。あるイギリスの大学である研究が行われ

今年度中学校一年部の主任を務めることになった。先日行われた入学式は、開校よりともに過ごした内進一期生と、初めて楠隼で生活を送ることとなる中学四期生を同時に迎えるという、ここ楠隼でしか経験できない感慨深い式であった。一年主任として掲げたスローガンは、「The Next Generation」次世代。中学四期生に次世代の楠隼を創る中心になつてもらいたいという願いを込めていた。我が楠隼は開校四年目。物事が三年で熟成するとは思わぬ。だが、これまで三年間の一期生、二期生、三期生の歩みに敬意を表せざるを得ない。本当によく頑張つて、楠隼をここまで支えてくれたと思う。その先輩方の意志を継ぎ、さらに高めていけるような集団を創りたい。さらに、我が楠隼生に日本

「The Next Generation」次世代」 仰げば尊しく飯田先生

たいという壮大な願いも込められている。以前、校長講話の中で、忘れられないフレーズがあった。「大人が創った社会とその矛盾を、次の世代の若者に託す」ということは無責任であるが、それでもあえて君たちに託す。」

衝撃を受けた。今の社会は大人が創った社会である。決して愚かな社会にしようとしていたわけではない。我武者羅に頑張つて、みんなが創った社会である。だが、これが正解だと自信をもって言い切れない。矛盾と葛藤を感じている大人も少なくない。そんな日本の現状を、溢れる創造力と豊かな発想で打破していく人材を、ここ楠隼から送り出したい。

周りの大人や専門家たちが口をそろえて否定したが、見事にやっつけてのけていく次世代の日本人メジャーリーガーのように！

新任の先生方 初めての楠隼に

前年度の離任式において、一期生、二期生、三期生の全員がお世話になった先生方のうち、何名もの先生方が、新天地に向けて楠隼を旅立っていきました。悲しみに暮れた生徒もいたと思います。春休みも明け、新入生以外の初めての登校日、新任の先生発表が行われました。

新任の先生
高校教頭・鏡山先生
数学教諭・村上先生
理科教諭・溝口先生
理科教諭・上富先生
音楽教諭・馬場先生
中学理科教諭・原田先生
栄養教諭・榎柑先生
養護教諭・松重先生
事務次長・福永先生
主事・清永先生
主事・竹山先生
図書補助・稲村先生

これから、これらの先生方と一緒に学校生活・寮生活を送っていきます。楠隼生として適切な態度をもって、これからも生活していきましょう。(中井)

【編集後記】
四期生の皆さん、ご入学おめでとうございます。楠隼創立四年目の歴史が始まりました。一期生は卒業し、新しく四期生が入ってきました。また一つ進化した楠隼に、新たな風が吹き込まれました。この新聞は中学校生徒会広報部が月一回作成発行しています。昨年度よりも充実した新聞作りを目指して日々精進しています。これからも楠隼の動静について詳しく掲載しようと思っております。これからも宜しくお願いします。(中学生徒会広報部・宮島・中井)

(この新聞は楠隼 四・五・六 生徒会新聞四月号)にて掲載されています。